



縄文の知恵を学ぶ！ ～縄文教室・土器作り～



縄文のくらしを肌で体感する全3回コースのイベント「縄文教室」。開館当初から続いているイベントで、今年も7月18日(土)・19日(日)に第1回の土器作りを開催しました。自作の縄文土器作りに挑戦する「通常コース」と、2日間かけて実際に遺跡から出土した縄文土器の再現を目指す「本格コース」に分かれ、計40名が参加しました。さて、今年の土器の出来栄えはどうなるでしょう？



理想の土器をめざして【通常】



▲粘土を貼り付け立体的な装飾に



▲「縄文原体」で縄目をつける

通常コースでは、はじめに土器作りのスペシャリスト・元東北歴史博物館上席研究員の菊地逸夫先生から土器作りのコツを説明いただき、いざスタート！底になる部分をつくったら、粘土ひもを一段一段丁寧に積み重ねていきます。小さなお子さんから大人のみなさんまで一心不乱に粘土をこねこね自分だけの土器を形作っていました。超個性的な土器にチャレンジしていた人も！

土器の形が出来上がったら次は文様づけ。縄文土器の由来にもなった縄目文様を付けたり、粘土ひもを貼り付けてグルグル文様を付けたり、皆さん楽しみながら思い思いの装飾をほどこしていました。

クオリティにこだわる【本格】

本格コースは、これまでに何度も土器を作った経験を持つ土器作り上級者の集まり！再現を目指す縄文土器の図面や写真だけでなく、実物により近づけるために計測器具を持参して大きさを測りながら作っている方もいらっしゃいました。整った美フォルムの土器、精緻な文様を見た通常コースの方からは「レベルがちがう…」という声が聞こえてきました。ただ、作ったご本人は「ここがうまくいってないんだよねあ…」とまだまだ納得がいていない様子。縄文人の技術力を改めて実感しつつも、素晴らしい完成度が高い作品が並びました。



▲細かな文様を刻み込む

こちらも
チェック→



facebook



Instagram



HP